

追せき！生ごみの変身

八代市立太田郷小学校 5年 菅村 光

1 研究の目的

八代市では、今年も「ごみ非常事態宣言」が出され、家庭から出るゴミの中でも、「生ゴミ」の減量が呼びかけられていることを知りました。そこで、家で生ゴミを処理する方法として、生ゴミたい肥は簡単に作れるのか、どんな変化があるのか、調べてみたいと思いました。

2 研究の方法

(1) 生ゴミを土にまぜるとどうなるか調べる。

ア 生ゴミ（野菜くず、たまごのから、油かす、果物の皮）を3日分ため、細かくする。

イ ペットボトルに畑の土を入れ、アの生ゴミを入れてまぜ、新聞紙でふたをし、毎日観察する。⇒温度や重さは変化するか？

(2) 生ゴミはたい肥になっているのか調べる。

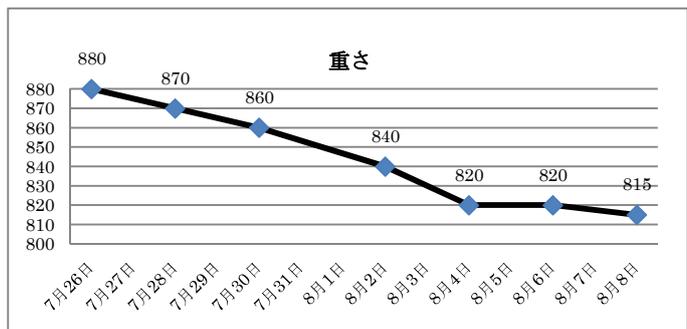
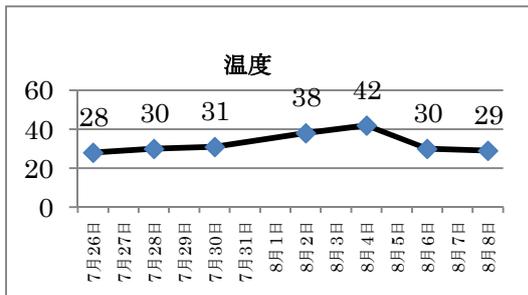
ア 生ゴミをまぜた土に種をまいてみる。⇒育つか？

イ もとの土と、生ごみをまぜた土のPHを調べる。⇒変化はあるのか？

3 研究の結果

7月26日	7月28日	7月30日	8月2日	8月4日	8月6日	8月8日
						
生ゴミを土にまぜる。	まだ生ゴミのかたまりがある。	ペットボトルに水滴がつく。	土が温かく、ゴミも小さい。	糸のような白カビ発見。	土が乾いた。かたまりなし。	土はさらさらにおいなし

土の温度変化と重さの変化



(1) 土の温度が上がるとともに、重さは75g減り、生ゴミは2週間でほぼ分解された。

(2) ア 畑の土、畑の土+生ゴミをまぜた土、生ゴミをまぜた土の3種類の土に種をまいてみると、畑の土+生ゴミをまぜた土の発芽・成長がよかった。

生ゴミをまぜた土だけだと発芽・成長がおそかった。

イ 畑の土、生ゴミをまぜた土を水に通し、PH検査薬で調べたところ、

生ゴミをまぜた土の検査薬がこくなった。性質が変わったものと思われる。



4 研究のまとめ

生ゴミを土にまぜると、土の温度が上がり生ゴミがどんどん小さくなっていきました。驚いたのは、イヤなおいや虫が全く出なかったことです。分解された後の土は、少し性質が変わり、植物を育てるのに適していることが分かりました。家の花壇の土づくりに利用しようと思います。